

開会のことば・議長

福岡県柳川市長

金子健次

全国大会実行委員会
委員長



本日、全国道路利用者会議第70回全国大会に、古賀会長をはじめ、全国から多数の会員の皆様のご参加のもと、国土交通省の吉岡道路局長、小川福岡県知事、高島福岡市長、吉松福岡県会議長、阿部福岡市議会議員、さらに多くの国会議員ほか多数の来賓の皆様にご臨席を賜り厚くお礼を申し上げます。特に、本年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、5月の当会議の定時総会の開催が中止になるなど各種の全国大会が中止・延期に追い込まれる状況となりました。当大会もその影響は避けられず、北部九州5県2市で構成いたします実行委員会において検討を重ねてきた北部九州3コースの道路視察が、誠に残念ではございますりましたが、断念せざるを存じますが、そして、あらた

来賓挨拶

国土交通大臣代理

吉岡幹夫

国土交通省道路局長



り、我が国の経済活動を支える、エッセンシャルワークとして、人流・物流をお支えいただいているトラック、バス、タクシー等の業界の皆様にも、ますます心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。さて、今年も九州を中心とした豪雨や台風により、各地で甚大な被害が発生しています。国土交通省としては、引き続き、東日本大震災や、近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害からの復旧・復興に全力で取り組んでまいります。あわせて、災害のさらなる激甚化・頻発化に対応するため、今年度で終了する「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」後も、これまでの法面対策などの局所対策に留まらず、強靱な道路ネットワークの構築を加速させることに、インフラの老朽化対策などを中長期的な視点に立って計画的に取り組む必要がありま

来賓挨拶

小川洋

福岡県知事



また、皆様方におかれましては、日頃から、道路の整備促進にたいへんご尽力をいただいております。改めて、この場を借りまして、感謝を申し上げます。古賀会長をはじめ会員の皆様、さて、道路は、私たちの日々の暮らし、そして、人流・物流を支える社会基盤であり、様々な産業活動、

来賓挨拶

福岡県福岡市長

高島宗一郎

全国大会実行委員会
副委員長



本日は全国道路利用者会議第70回全国大会が、福岡市でこのように盛大に開催されますことを、心から喜び申し上げます。福岡市では天神ビッグバンというプロジェクトが国家戦略特区を使って始まっております。2024年までに70棟近いビルが建て変わるといふようなビッグプロジェクトでございますが、こうしたプロジェクトの中で、都市高速道路から空港へのアクセスをさらに向上させるといふ延伸計画も、国や県と共に進めてまいります。こうした整備を進める価値を組み込んでいく新しいプロジェクトもさらに

そして地域の活性化、そのためにたいへん重要な役割を果たすものであります。また、この国の将来を担う次世代の子供たちに夢を、そして、地域にとつては、その未来に希望を与えるものでございます。

また、29年度には、有明海沿岸道路の沿線4市がこを、そして、地域にとつては、その未来に希望を与えるものでございます。

本県におきましては、平成28年度、東九州道が北九州市から宮崎市まで全線開通をいたしました。それによりまして、九州自動車道、大分自動車道、そして宮崎自動車道と一体となりまして、九州に循環型のネットワークというものが形成されたわけでございます。そのため、県境を越え、企業の事業の在り方というものが、大きく、今、変わ

して、人口の増加は予想を8年上回るペースで今年の5月に160万人を突破し大変勢いもあつたわけでござい

ただ、私たちはこの新型コロナウイルスにいつまでも怯えてばかりいるわけにはいきません。このピンチをチャンスに変えて、新しい価値の創造、そんな機会にしたいという思いもござい

また、現在政府が検討を進めております国際金融拠点機能の誘致に向けては、先ごろ経済界、産学官が一緒になってチーム福岡を結成し、一丸となった取り組みも始まったところでござい

また、福岡市の新しい生活様式として、通勤時の自転車利用が全国的に増加の傾向にありましては、電動キックボードなどの新しいモビリティの登場も踏まえて、これから道路がどのようなあり方をすべきなのか、社会実装に向けたチャレンジも必要でござい

また、福岡市の新しい生活様式として、通勤時の自転車利用が全国的に増加の傾向にありましては、電動キックボードなどの新しいモビリティの登場も踏まえて、これから道路がどのようなあり方をすべきなのか、社会実装に向けたチャレンジも必要でござい

また、福岡市の新しい生活様式として、通勤時の自転車利用が全国的に増加の傾向にありましては、電動キックボードなどの新しいモビリティの登場も踏まえて、これから道路がどのようなあり方をすべきなのか、社会実装に向けたチャレンジも必要でござい

りつつあります。しかしながら、人々の安全・安心を守り、地域の経済を支える道路の維持・整備、その重要性は、いささかも変わるものではありません。

むしろ、災害時に、先ほどお話がありましたように、救命救急活動や緊急物資の輸送、そして、その後の復旧・復興にいたるまで大きな役割を担います道路、そして、災害に強い代替性のある道路ネットワークの整備、その必要性は、ますます高まっております。

福岡県といたしましては、国、市町村、関係機関との役割を果たしていきけるものと確信をしております。

一方で、道路に求められる役割は多様化しており、近年の激甚化・頻発化する自然災害に対しましては、無電柱化の推進をはじめ多様な機能も求められております。このような取り組みを進めていく上でも、都市の基盤的なインフラである道路の整備は大変重要でござい

また、福岡市においては、来春には新しい産業や国際物流でも集積が進んでおりますアイランドシティへの都市高速道路の完成も迎えます。また、福岡市の発展の生命線とも言えます、福岡空港が、現在、拡幅工事中でございますが、本日の第70回の大会では、こうした時代の大きな変化を踏まえて、国への要望を決議する形で皆様と心を一つにしたいと思

また、福岡市の新しい生活様式として、通勤時の自転車利用が全国的に増加の傾向にありましては、電動キックボードなどの新しいモビリティの登場も踏まえて、これから道路がどのようなあり方をすべきなのか、社会実装に向けたチャレンジも必要でござい

また、福岡市の新しい生活様式として、通勤時の自転車利用が全国的に増加の傾向にありましては、電動キックボードなどの新しいモビリティの登場も踏まえて、これから道路がどのようなあり方をすべきなのか、社会実装に向けたチャレンジも必要でござい

また、福岡市の新しい生活様式として、通勤時の自転車利用が全国的に増加の傾向にありましては、電動キックボードなどの新しいモビリティの登場も踏まえて、これから道路がどのようなあり方をすべきなのか、社会実装に向けたチャレンジも必要でござい

また、福岡市の新しい生活様式として、通勤時の自転車利用が全国的に増加の傾向にありましては、電動キックボードなどの新しいモビリティの登場も踏まえて、これから道路がどのようなあり方をすべきなのか、社会実装に向けたチャレンジも必要でござい

来賓挨拶

吉松源昭

福岡県議会議長



年連続での大きな豪雨災害となっております。近年、頻発しておりますこういった自然災害の発生状況等を踏まえ、安

